空き家の活用に困っている方必見！賃貸にするメリットをご紹介

近年、空き家が増えて社会問題となっています。家が空き家になるのは、実家の両親が亡くなって、住む人がいなくなった場合などに多いようです。一見厄介な存在に見える空き家も、上手に活用すれば継続的に収入を得ることが可能となります。では、空き家の活用方法にはどのようなものがあるでしょうか。

□空き家の活用方法

空き家の活用方法には、売却と賃貸で貸す方法があります。売却は、文字通り空き家を売ってしまうものです。空き家を売れば一度にまとまったお金が入ってきますが、その後お金が入ることはありません。

また、空き家になった実家を売却してしまうと、子供の頃住んでいた思い出の詰まった家がなくなってしまいます。これに対して、売却せずに賃貸で貸す方法なら、実家が手元に残ったまま家賃収入を得ることができるのです。

しかも売却とは違って、家賃収入はずっと続きます。空き家を放置したままでは1円にもなりませんが、上手に活用すれば将来にわたって定期的な収入を得られるようになります。

□賃貸にするメリット

空き家を賃貸にすると、前述のように定期的な家賃収入を確保することができます。しかも、賃貸にすると管理の手間がかからないのも大きなメリットといえるでしょう。さらに、賃貸にするということは、空き家（多くの場合実家）を手元に残したままなので、将来実家を改修して住み替えることも可能です。

空き家を賃貸にするには、「空き家をそのまま貸す」方法と、「空き家をリフォームして貸す」方法があります。そのまま貸す場合は一切の手間がかからないので、一番簡単な方法です。しかし、この場合はあまり高い家賃は取れない可能性があります。

なぜなら、空き家は家そのものが古いからです。これに対してリフォームして貸す場合は、もとは古い家であってもリフォーム後はかなりきれいになりますから、高い家賃で貸すことができます。

この方法はリフォーム代で初期費用がかかりますが、高い家賃が取れるので多くの収入が得られるため、長い目で見れば結局このほうがお得なのです。このため、空き家を貸して家賃収入を得たいなら、リフォームしてから貸すことをおすすめします。

□まとめ

空き家を活用する方法には、売却と賃貸があります。空き家は放置すれば1円にもなりませんが、売却か賃貸で貸すことでお金を生み出します。空き家を売却すればまとまったお金が入りますが、そのかわり一度きりしかお金は入りません。

その点、賃貸で貸すと将来にわたって家賃収入を得ることができます。空き家を賃貸で貸すなら、リフォームしてから貸すほうが高い家賃を取れるので、長い目で見るとこのほうがお得です。